

東日本高速道路株式会社 北海道支社  
支 社 長 堀 圭一

## 質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル西工事

### 質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	コンクリート T3-4について 非常用施設箱抜工の「消火栓(TYPE-1)」「消火栓(TYPE-2)」「手元開閉器箱」で記載の数量と異なる数量を計上している箇所があり、数量明細書と設計図で整合性がありません。正しい数量をご教示願います。	4月3日付けHP掲載の訂正公告「金抜設計書」及び「数量明細表」をご確認ください。
2	型枠周長について 参考図の加背割図に型枠周長の記載がありません。トンネル各土質断面の型枠周長をご教示願います。	C I -a (H)-1-B、C II -a (H)-1-B、C II -b (H)-1-B、D I -a (H)-1-Bは20.805m・D III a (H)-1-B : 20.762m・C I -B-L : 23.119mです。
3	D III a (H)-1-Bのトンネル掘削数量について 「11804.8m <sup>3</sup> 」ではなく「11810.3m <sup>3</sup> 」ではないでしょうか。 非常用施設箱抜工の消火栓(TYPE-2)が「6.628m <sup>3</sup> 」ではなく「6.268m <sup>3</sup> 」で計上されており、手元開閉器箱「5.064m <sup>3</sup> 」が計上されていません。正しい数量をご教示願います。	4月3日付けHP掲載の訂正公告「金抜設計書」及び「数量明細表」をご確認ください。
4	D III a (H)-1-Bの吹付けコンクリート工数量について 「2904.3m <sup>2</sup> 」ではなく「2917.2m <sup>2</sup> 」ではないでしょうか。 非常用施設箱抜工の手元開閉器箱「12.814m <sup>2</sup> 」が計上されていません。正しい数量をご教示願います。	4月3日付けHP掲載の訂正公告「金抜設計書」及び「数量明細表」をご確認ください。
5	C I -B-L (H)のトンネル掘削数量について 「3652.8m <sup>3</sup> 」ではなく「3653.2m <sup>3</sup> 」ではないでしょうか。 非常用施設箱抜工の消火栓(TYPE-1)が「4.803m <sup>3</sup> 」ではなく「4.343m <sup>3</sup> 」で計上されています。正しい数量をご教示願います。	単価表及び数量明細表が正となります。 設計図書を訂正いたします。

番号	質問事項	回答
6	<p>C I -B-L(H)の吹付けコンクリート工数量について  「840.2m<sup>2</sup>」ではなく「841.3m<sup>2</sup>」ではないでしょうか。  非常用施設箱抜工の消火栓(TYPE-1)が「12.267m<sup>2</sup>」ではなく「11.137m<sup>2</sup>」で  計上されています。正しい数量をご教示願います。</p>	<p>単価表及び数量明細表が正となります。  設計図書を訂正いたします。</p>
7	<p>再打設ロックboltについて  ロックbolt工B(L=3.0m)・C(L=4.0m)に箱抜工で生じる再打設ロックbolt  の数量が計上されていないと思われます。C I -a(H)-1-B 「15本」、C II -  a(H)-1-B 「5本」、C I -B-L(H) 「5本」分は、どの項目に計上頂いております  でしょうか。ご教示願います。</p>	<p>各ロックboltの項目に計上されています。</p>
8	<p>ロックbolt工の数量について  ロックbolt工B(L=4.0m)の数量が本体数量「1016本」、箱抜工増減数量  「61本」、合計「1077本」になっていると思われますが、箱抜工のロックボ  ルトの数量を計算すると「64本」となります。箱抜工増減数量は「64本」で  B(L=4.0m)の数量「1080本」が正ではないでしょうか。ご確認よろしくお願  いします。</p>	<p>ロックbolt B(4.0m)の本数について、本体数量が「1016本」箱  抜き等増減数量が「63本」、合計1,079本が正となります。設計  図書を訂正いたします。</p>
9	<p>鏡吹付コンクリートの取壊しについて  鏡吹付けコンクリートの取壊し費用は、トンネル掘削工にてトンネル掘削と  は別に計上頂いているとの理解でよろしいのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>鏡吹きの取り壊しはトンネル掘削により想定しています。</p>
10	<p>鏡吹付コンクリートの取壊しについて  鏡吹付けコンクリートの取壊し費用の見積条件は、下記の内どれに当てはま  るかご教示願います。  ①トンネル掘削量に鏡吹付けコンクリート量分を加えて、トンネル掘削歩掛  にて計上  ②トンネル掘削とは別に鏡吹付けコンクリートの機械取壊しを計上  ③トンネル掘削とは別に鏡吹付けコンクリートの人力取壊しを計上  ④トンネル掘削とは別に鏡吹付けコンクリートのブレーカ取壊しを計上  ⑤その他 ※その他の場合は見積り条件を別途詳細にご教示願います。</p>	<p>積算に関するご質問にはお答えできません。</p>

番号	質問事項	回答
11	<p>鏡吹付コンクリートの取壊し殻運搬について          鏡吹付けコンクリート殻の分別は、坑外ずり積替場にて行うと記載がございますが切羽から坑外ずり積替場までの運搬費用はどの項目にて計上頂いているのでしょうか、トンネル掘削ずりに該当数量を加えて見積りを行うものと理解すればよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	特記仕様書28-6-3より処理工に記載のとおりです。
12	<p>避難連絡坑の数量について          設計図にある単位数量や延長を用いて確認計算を行っても数量明細表と数量が合致しません。どのようにして計算しているのでしょうか。または、数量に間違い等はないでしょうか。ご教示願います。</p>	設計図書に示すとおりです。
13	<p>避難連絡工について          第2期線側と第1期線側の数量集計表に標準と増減数量とありますが、増減数量の行に入っている数量はすでに標準に計上されており、合計数量は増減数量を二重計上したものであります。          数量明細表の避難連絡工の数量では吹付けコンクリートは二重計上されておりませんでしたが、それ以外の数量は二重計上されたものだと思われます。ご確認よろしくお願ひします。</p>	設計図書に示すとおりです。
14	<p>鉄網工について          特記仕様書に規格「D6×125mm×125mm」と表記がありますが、設計図では「D6×125×250」となっております。特記仕様書と設計図で規格が異なっておりますが、どちらが正でしょうか。ご教示願います。</p>	D6×125mm×250mmが正となります。 設計図書を訂正いたします。
15	<p>中央排水工B、横断排水工について          フィルター材の詳細規格は下記の内どの材料を考慮頂いていますでしょうか。          ①C-40          ②RC-40          ③粒度調整砕石          ④単粒度砕石          ⑤その他 ※その他の場合は見積り条件を別途詳細にご教示願います。</p>	3月7日付けHP掲載の【質問と回答⑥】番号32をご確認ください。

番号	質問事項	回答
16	<p>型わくC(T)の内型枠について 拡幅部とすり付け部のセントルは下記のどの見積条件と理解すればよろしいのでしょうか。ご教示願います。</p> <p>①拡幅部とすり付け部で同じセントル（本坑と同じ）      ②拡幅部とすり付け部で同じセントル（本坑とは別）      ③拡幅部とすり付け部で別のセントル（すり付け部のみ本坑と同じ）      ④拡幅部とすり付け部で別のセントル（どちらも本坑と別）      ⑤その他 ※その他の場合は見積り条件を別途詳細にご教示願います。</p>	積算に関するご質問にはお答えできません。
17	<p>型わくC(T)の外型枠について 外型枠は木製型枠と鋼製型枠のどちらを想定しているのでしょうか。また据付・撤去歩掛の公表はありますでしょうか。ご教示願います。</p>	積算に関するご質問にはお答えできません。
18	<p>インバート埋戻し工について 「6444.7m<sup>3</sup>」ではなく「6429.9m<sup>3</sup>」ではないでしょうか。 C II-b(H)-1-B断面の控除数量が反映されていないと思われます。</p>	設計数量は6,426.8m <sup>3</sup> が正となります。 設計図書を訂正をいたします。
19	<p>汚濁水処理工(運転)の日数及び薬品の数量算出日数について 「20.8ヶ月×21日/月=436.8日」ではなく 「18.8ヶ月×21日/月=394.8日」が正ではないでしょうか。 ご教示願います。</p>	数量明細表に示すとおりです。
20	<p>汚濁水処理工(供用)の日数及び薬品の数量算出日数について 「20.8ヶ月×30日/月=624日」ではなく 「18.8ヶ月×30日/月=564日」が正ではないでしょうか。 ご教示願います。</p>	数量明細表に示すとおりです。
21	<p>注入式長尺鋼管先受工で使用するドリルジャンボの規格について コンサル設計のREPORT9では「150kg級」で考慮されておりますが、当初設計書ではコンサル設計の通りの見積条件で見積を行えば良いのか、本坑掘削と同機種の「170kg超級」での見積のどちらなのか見積条件を教示願います。</p> <p>①使用するドリルジャンボは「170kg超級」      ②使用するドリルジャンボは「150kg超級」</p>	170kg/級を想定しています。 貴社の施工計画に基づき見積もり計上願います。
22	<p>注入式長尺鋼管先受工のサイクルタイムについて 上記質問より「170kg超級」を使用している場合、REPORT9の1m当たり推進時間が「9分」から「8分」に変わると思われますが、サイクルタイムの変更は行われているのでしょうか。ご教示願います。</p>	積算に関するご質問にはお答えできません。

番号	質問事項	回答
23	<p>鏡吹付コンクリートのサイクルタイムについて 下記のどの方法でサイクルタイムを算出しているでしょうか。ご教示願います。</p> <p>①<math>(A3 - ((N1 + N2) \times 上半吹付け周長)) \times N3 \times 1.24 \times 60/10</math> (令和6年度積算基準)      ②<math>M2 \times N3 \times 1.24 \times 60/10</math> (REPORT9 2-3)      ③その他 ※その他の場合は見積り条件を別途詳細にご教示願います。</p>	積算に関するご質問にはお答えできません。
24	<p>鏡吹付コンクリートのサイクルタイムについて 上記質問より①の場合、上半吹付け周長が必要になります。設計図の吹付け・ロックボルト工図にある周長を使用すればよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	積算に関するご質問にはお答えできません。
25	<p>鏡吹付コンクリートの施工面積について 設計図とREPORT9で施工面積が異なりますが、設計図が正と理解し見積を行えばよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	設計図に示すとおりお考え下さい。
26	<p>坑門工について 拡幅部及びすり付け部の断面積が設計図から読み取れません。公表していただけないでしょうか。ご教示願います。</p>	設計図に示すとおりお考え下さい。
27	<p>処分費について (株)吉岡のコンクリート塊の処分費用が不明です。後日公表はされますでしょうか。ご教示願います。</p>	単価公表に関する質問にはお答えできません。
28	<p>ずり処理工について トンネル掘削ずりを本線盛土の盛土材として使用する場合、小割、破碎等の粒度調整が必要となります。下記の内どの見積条件を考慮されていますでしょうか。ご教示願います。</p> <p>①小割、破碎等の費用は別途計上する      ②小割、破碎等の費用はトンネル掘削に含まれているものとし、別途計上しない。      ③その他 ※その他の場合は見積り条件を別途詳細にご教示願います。</p>	積算に関するご質問にはお答えできません。

番号	質問事項	回答
29	<p>ずり処理工について 上記質問より①の場合、どの条件で計上されているでしょうか。ご教示願います。</p> <p>①大型ブレーカによる碎岩 ②骨材再生工(国交省歩掛) ③その他 ※その他の場合は見積り条件を別途詳細にご教示願います。</p>	積算に関するご質問にはお答えできません。
30	<p>フリッカ設備工について 特記仕様書に記載の通り、容量は「300Kvar」で見積もりを行えばよろしいでしょうか。 狩勝第二トンネル東工事では、特記仕様書には「300Kvar」とありましたが、積算内訳書から確認すると「900Kvar」で積算されていると思われます。西工事では特記仕様書の通りに積算されているでしょうかご教示願います。</p>	特記仕様書28-6-7 (1) のとおり想定しています。
31	構造物掘削 特殊部A3で継施工(1箇所)とありますが、撤去時はガス切断等が見込まれていると理解致しますが間違いないでしょうか。ご教示願います。	設計図の示すとおり想定しています。
32	<p>鉄筋Cの機械式鉄筋定着の箇所数について 「串内橋(下り線) P1橋脚配筋図(その6)」の鉄筋表で上がっている、「(種別)S4」と「(種別)S5」の本数ですが、機械式鉄筋定着数量表の箇所数と合致しません。同じことがP2、P3、P4、でも起こっています。箇所数または本数のどちらの数量が正しいとお考えでしょうか。ご教示願います。</p>	鉄筋表の数量が正となります。 設計図書を訂正いたします。
33	<p>鉄筋SD490について 鉄筋A1, B1, Y1で使用される「SD490 D51, D29, D25, D16」の単価の公表はございますか。ご教示願います。</p>	4月9日付けHP掲載の参考積算条件書をご確認ください。
34	<p>鉄筋Y1について 鉄筋Y1は機械継手となっていますが、「串内橋(下り線)A1橋台場所打ち杭配筋図(その1)」を見ると重ね継手のようにも見えます。どちらが正しいのでしょうか、機械継手であれば、継手は何箇所とお考えでしょうか、ご教示願います。</p>	特記仕様書28-5-3 (1) に記載のとおりです。

番号	質問事項	回答
35	<p>土工の数量について 横断図上に記載されているもののもとに数量を確認してみると、上部路床が「803. 6 m<sup>3</sup>」、下部路床(凍上抑制層)が「2196. 3 m<sup>3</sup>」となり、数量明細書の数量と一致しませんが、坑門部の「STA. 1076+40. 000」までの数量を足してみると、数量明細書の数量と一致しました。横断図上に載っている測点ごとの数量、または数量明細書の数量、どちらが誤った数量なのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>盛土工A1(上部路床)「803. 6m<sup>3</sup>」・盛土工A2(下部路床) 「2196. 3m<sup>3</sup>」が正となります。 設計図書を訂正いたします。</p>